

ROTARY CLUB
ITOIGAWA



2024~2025年度

R I テーマ ロータリーのマジック

地区運営方針 ロータリーはステージ、みんなが輝く

糸魚川RCテーマ 世代をつなぎ輝くロータリー



週報

糸魚川



2025.5.8
第3031例会
No.37

◆会 長 猪又直登 ◆クラブ会報雑誌 吉田 学
◆例 会 場 ヒスイ王国館 糸魚川市大町1-7-11 TEL.025-553-1210
◆例 会 日 毎週木曜日 12:30~13:30
◆創 立 1960年9月10日 ◆承認 1960年10月12日
◆事 務 局 新潟県糸魚川市寺町 糸魚川商工会議所内 TEL.025-552-1225
◆糸魚川RC HP <https://www.itoigawa-rc.jp/>
◆第2560地区HP <https://www.rid2560niigata.jp/>

● 本日のプログラム ●

- ・ 点 鐘
- ・ 国 歌 君が代
- ・ 四つのテスト
- ・ 会 歌 奉仕の理想
- ・ 会長挨拶
- ・ 幹事報告
- ・ 委員会報告
- 親睦委員(結婚記念日祝・誕生日祝)
- ニコニコ箱担当委員・その他委員会
- ・ 卓話
- 中小企業診断士office38²(オフィスミヤザワ)
- 宮澤 奈緒子様
- 「社員の力を発揮し、生産性を高める秘訣
(自己肯定感をベースに)」
- ・ 点 鐘

入会式

創和ジャステック建設株式会社
代表取締役 岩崎 護君

次回例会プログラム

◇5月15日(木)
糸魚川国際人材サポート協会 五十嵐 桂子様

出席報告

◆4月24日(木) 16名

親睦委員会

◇5月誕生日(2名)
3日 高岩哲史君 17日 大島證道君

◇5月結婚記念日祝(4名)
3日 藤巻賢策君、高岩哲史君
5日 小畑涼治君 15日 畑 俊宏君

幹事報告

◆4月24日(木)ヒスイ王国館勾玉にて第11回定例
理事会が開催されました。出席者8名

議題

1. 5月のプログラム、例会食事業者について
2. 2025-26年度役員体制について
3. 「にいがた緑の百年物語」
令和7年度会員継続について
4. 会員増強について
5. その他

◆4月24日(木)駅北広場キターレにて「糸魚川元気
花火の会」通常総会が開催されました。
出席者 猪又直登会長

◆4月26日(土)ANAクラウンプラザホテル新潟にて
2025-26年度地区研修・協議会が開催されました。
出席者 赤星君・岡島君・小田島君・猪又一義君
堀江君・中林君・松木君・渡辺澄男君
後藤君(9名)

◆4月27日(日)~28日(月)春日部南RCとの
交流会が開催されました。

参加者 赤星君・樋口君・平野君・猪又直登君
小田島君・大島君・齊藤君・田邊君
歌川君(9名)

◇室賀年度「防減災セミナー」開催案内

日 時 5月11日(日) 14:00~17:00
会 場 長岡グランドホテル
対象者 クラブ連絡員、ガバナー補佐
締 切 5月1日(木)
出席者 小田島ガバナー補佐エレクト

◇第7分区新旧会長幹事会開催案内

日 時 5月14日(水) 18:30~20:45
会 場 神の宮温泉 かわら亭
会 費 8,000円(当日受付)

◇令和7年度にいがた緑の百年物語糸魚川支部
総会開催案内

日 時 5月26日(月) 15:30～19:30
会 場 ヒスイ王国館 万葉
会 費 5,000円

◇社会奉仕事業「縄文の森草刈り」開催案内

日 時 5月27日(火) 9:00～(集合8:50)
場 所 長者ヶ原遺跡公園
例 会 とんかつ食堂(旧インター食堂)
12:30～
※開催は火曜日です。例会のみの参加もOKです。
※5月22日(木)の変更日です。
22日は例会ありません。

◇国際ロータリー第2560地区
「ビギナーラーニング」開催案内

日 時 5月31日(土) 14:00～17:00
会 場 長岡市中央公民館(さいわいプラザ)
出席者 松木美沙子地区ラーニング委員
渡辺澄男君

2025-26年度地区研修・協議会

4月26日(土)にANAクラウンプラザホテル新潟にて
開催されました。



会場の様子



春日部南RCとの交流会



◆個人寄付 4月24日 (3名16,000円)

氏 名	スマイル	R財団	米山財団
猪又 直登 君	1,000	1,000	1,000
大島 證道 君	3,000	4,000	3,000
杉森 学 君	1,000	1,000	1,000
合 計	5,000	6,000	5,000

◆中央RCコーナー

5月9日(金)
かがやき社会保険労務士事務所
社会保険労務士 畑 俊宏様

4月24日の卓話 *****

「公民館(支館)制度の現状と課題

～青海地域自治会を例に～」

田沢地区須沢支館 支館長 野上正和様

公民館制度の成り立ちとして、
旧能生町は昭和29年、旧糸魚
川市は昭和43年、旧青海町は
昭和23年に公民館が設置され、
始まりました。なかでも青海町
公民館の設置は県内でもかなり古いものとされています。



公民館制度とは、第3次糸魚川市総合計画施策の
方向性として・地域と連携した社会教育の振興・生
涯学習機会の充実・施設の適正管理と有効活用が設
定されており、地方自治法から糸魚川市公民館条例も
定められています。

平成17年に糸魚川市、能生町、青海町が合併し、
新「糸魚川市」が誕生。これを機に市では公民館制度
の1本化を進めてきました。

地区公民館の他に各地域の支館を設け、集会的な
施設として利用されておりますが、能生地域は従来の
公民館制度が残っており支館は設けておりません。青
海地域の各支館も自主財源、自主事業で活動している
ため公民館と同じ役割を果たしていますが、人口減少
により、利用者が減り、建物統合の話も出ております。

公民館の設置及び運営に関する基準の一部として
「学校、家庭及び地域社会との連携等」がありますが、
最近とても多くなってきており、青海町では地域学校
の運営委員にそれぞれの支館長が属しております。

学校と地域の連携が重要課題と考えており、公民
館(支館)が地域づくりやコミュニティ強化の活動を
担っていく必要があります。しかし、高齢化や定年制
の引き上げで就労に就いている方も多く、役員のなり
手が見つからない、社会的な認識の変化で町内会や
自治会に所属しない世帯も増え、地域コミュニティが
形成しづらい状況です。

市の予算もこの先定まらないため、地域支館の維
持が難しくなる懸念もあり、非常に戸惑っているのが
現状であります。